



IT を活用したソリューションを提供 安全・安心のまちづくりを実現する

川上 御社は様々な角度から地域のまちづくりに貢献する事業を展開していらっしゃるそうですね。

後藤 はい。「安全・安心のまちづくり」をテーマに、IT を利用した事業に取り組んでいます。メインになるのは、施設や公園に設置した飲料自動販売機の利益の一部を活用した、防犯カメラや Wi-Fi 設備、電子公告などの運用事業です。その他にも、まちづくりに関わるコンサル業務、地域の特産物の通販サイトの構築・運営や、地域をアピールするためのドローン事業まで、多角的に展開しています。

川上 ずいぶんと幅広く手掛けていらっしゃるんですね。

後藤 いずれの事業においても、根底にあるのは社会貢献への思いです。我々の

取引先は、私が前職時代に築いた人脈でつながった官公庁や自治体の方、あるいは関西電力さんのようなインフラ事業を展開する企業になります。人々の暮らしを支えている方々とタッグを組むことで、より良いまちづくりを目指しているんです。将来的には自動販売機を媒介とした情報発信のネットワークを構築することを考えており、現在、自動販売機事業はそのための布石にもなっています。

川上 自動販売機は町中で必ず見かけるものですし、そこに新しい機能やシステムを組み込んでいくという発想は斬新で素晴らしいと思います。

後藤 手掛けていること自体は、当社しかできない特別な技術を用いているというわけではありません。ただ、人脈やノウハウ、経験に基づいた官公庁へのアプ

ローチ手法などは、当社独自の強みと言えるでしょう。現在は代理店の方にも協力して頂きつつ、徐々に当社の事業が全国に広まってきています。私自身も全国を飛び回る忙しい日々を過ごしていますが、自分のやりたかった仕事を体力の続く限りでできるわけですから、やりがいや喜びもすごく大きいですね。

川上 これからの展開が楽しみになりますね。会社のビジョンについてはいかがでしょう。

後藤 私は、闇雲に売上や利益を追求して会社を大きくするつもりはありません。ただ、「社会から尊敬される企業にしたい」と強く思っています。我々の取り組みが世の中やお客様に評価されて、自然と会社や事業が大きくなっていくのが理想なんです。

川上 では最後に、これから出会うお客様に向けて、メッセージをお願いします。

後藤 東京オリンピックが開催される 2020 年までには、防犯カメラの普及や、ネットを使ったインフラ整備はますます必要不可欠になるでしょうから、我々のノウハウが生かせるでしょう。お住まいの地域で安全・安心なまちづくりをしたいという思いをお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けください。きっと、お力になれると思います。



Guest Comment

川上 麻衣子（女優）

後藤社長は「ビジョンはあまりありません」と謙遜されていましたが、事業モデルのお話を伺って、身近なものを便利にアップデートしていく流れに無限の可能性を感じました。今後どんなふうにネットワークが広がっていくのか、私も楽しみに見守っています。